



彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク
あったかウェルねっとニュース 第36号

2021年7月12日発行

ホームページアドレス <http://attaka2018.starfree.jp/>

2011年3月11日の東日本大震災より10年が経過しました。失われた多くの尊い命のご冥福を祈り続けるとともに、一日も早い被災地の復興・復旧を願い、被災された皆様の安心安全を心よりお祈り申し上げます。

あったかウェルねっとの「ウェル(WELL)」は、Welfare(福祉)、Well-Being(幸福)のWell(大切にという意味)で、「温かな心で一人ひとりを大切に思うつながり」でありたい、との願いが込められています。

変化の時代にも力強く～共に学ぼう～

彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員
 ネットワーク (あったかウェルねっと)

代表 横田八枝子

おかげさまで、あったかウェルねっと活動は21年目になりましたが、当初の2000年は国政から地方自治への大変革と同時に社会福祉改革、教育改革、そして2020年は未知の新型コロナウイルスが世界中で感染拡大したため、WHO パンデミック宣言・日本緊急事態宣言発出、2021年はコロナ変異株も出現しコロナ禍収束時期が不透明な状況です。

これまでも日々変化する社会背景を分析しながら、多様化・複雑化する福祉課題も冷静に捉え、長きに亘り関係する皆様方のお力添えをいただき、誰もが‘⑤だんの④らしの①あわせ’を享受できるよう、‘共に生きる力を育む’福祉教育推進に向けて、学び合いを重ねてまいりました。

継続を力に、コロナ禍が終息するまでは一人一人が健康に留意し、時間はかかっても‘一歩ずつ力強く’、皆で新しい時代を創っていきましょう！

最後に、原田正樹先生、学会の先生方、県社協や市町村社協のご支援に心よりお礼申し上げます。

今年は日本福祉教育・ボランティア学習学会第27回埼玉大会が開催となり、あったかウェルねっとも共催団体になりました。今後とも、みなさまのご協力ご助言を宜しくお願い申し上げます。

報 告 総会・研修会

2021年度ねっと総会を行ないました

2021年5月9日(日)9時30分～10時20分、オンラインで開催しました。規約の一部改正が提案され、第2条「未曾有のコロナ禍終息までの活動については、オンラインでの交流や学び等も研究していく。」の追加、第9条(会費と賛助会費)では、「*納入方法は、原則として口座振り込みにする。」の追加がありました。それ以外の議事も含めすべて承認され、2021年度がスタートしました。

- ★会費 正会員 1,000円/年
 賛助会員 一口500円(何口でも)

振込先：埼玉りそな銀行武蔵浦和支店
 普通預金口座番号：5015782

名義：彩の国福祉教育ボランティア学習推進員ネットワーク

原則として、口座振り込みになり、お願いいたします。ご協力をお願いします。

2021年度ねっと研修会
 -あったかウェルねっと20周年事業-
「共に生きる、地域で共に生きる」
 ～子どもの可能性の大きさと地域づくり～

総会に続き5月9日(日)午前11時～16時、20周年記念事業の研修会を行ないました。昨年はコロナ禍で中止せざるをえず、2年ぶりとなりました。コロナ禍のためオンライン開催としました。

県内外から58名の参加がありました。県内各地から推進員や社協職員、様々な立場の方々が画面いっぱいに並びました。20年の活動を振り返り共有しながら、学び合いました。



<内容>

- ・ あったかウェルねっと20年の歩み
横田八枝子 (あったかウェルねっと代表)
- ・ 鼎談「福祉教育で私の生き方が変わった」
横田八枝子 (第1期推進員・ボランティア・坂戸市)
坂本 晃一 (第2期推進員・小学校教員・元県社協職員)
木野 ゆずき (第2期推進員・視覚障害・毛呂山町)
- ・ 昼休み～昼食・交流タイム～
- ・ 基調講演
「あったかウェルねっとの歩みと市民参加の福祉教育」
原田正樹氏 (日本福祉大学 社会福祉学部教授、
日本福祉教育・ボランティア学習学会会長)
- ・ 講演・演習「子どもの可能性の大きさと地域づくり」
鈴木大輔氏 (NHKテレビ・ラジオ体操指導者、
社会福祉法人にじのいえ むぎのこ保育園理事長)
- ・ 対談「共に学ぶ、地域で共に生きる
～子どもの可能性の大きさと地域づくり～」
原田正樹氏・鈴木大輔氏
- ・ 全体会①グループトーク「福祉教育で私が変わったこと」
- ・ 全体会②みんなで振り返り
- ・ まとめ「これからに向けて」

講師の先生方、ご登壇の皆様、ありがとうございました。20年間の活動を振り返り、今後に繋ぐ研修会となりました。

なお、報告書については別途作成する予定です。

報告 まなびばしゃべりばカフェ

まなびばしゃべりばカフェ 2021 冬 (その1)

あなたのまちで・やさしさをひろげるために～思いやり・つながり・支えあう～
(新型コロナウイルスから考えてみよう)

2021年1月29日 (金)、片桐啓太氏 (埼玉県社

協地域活動支援課) より、昨年10月の令和2年度全国福祉教育推進員研修(全国福祉教育推進員フォローアップセミナー) 第1回 WEB セミナー～コロナ禍における新たな福祉教育を考える～で提唱された『全社協版「コロナ禍における福祉教育教材」の活用について』を分かりやすく紹介していただき、意見交換をしました。この教材「あなたのまちでやさしさをひろげるために(全社協版)」を既に活用している例もあり、今後は全国での活用も期待されるところ。みなさんの市町村でもいかがですか。

まなびばしゃべりばカフェ 2021 冬 (その2)

報告会『With コロナ・After コロナを見据えた新しいつながりの可能性を探る～オンライン高齢者サロンの背景と福祉教育との接点』

2月14日(日)、須田正子・横田八枝子(坂戸市推進員) 両名により、昨秋11月29日に行なわれた日本福祉教育・ボランティア学習学会で発表した研究内容について報告がありました。

コロナ禍でもオンラインを活用し高齢者サロンを継続している「坂戸市地域交流ボランティアよりあい*ええげえし」の活動から、共に生きがいをつくり、互いを認め、支え合いながら生きる福祉教育の視点が重要なことを学びました。

まなびばしゃべりばカフェ2021夏 (その1)

「性の多様性は生の多様性 ～LGBTQ+ (性的マイノリティー) と 多様な価値観～」

6月6日(日)、話題提供者に齋喜(さいき)逸江(ときえ)氏を迎え、参加者は全部で25名。日本社会事業大学より学生9名の参加もあり、幅広い年代が集いました。



性同一性障害、トランスジェンダー当事者の齋喜さんは、埼玉県南部で性的マイノリティーの啓

発活動しながら自分らしく生活しています。多くの方に知ってもらえたら嬉しいです、との思いから、ご自身の経験や発信する意味を分りやすく話していただきました。

後半はグループワークを行ない情報交換。様々な立場を知る機会となり、十人十色の環境の中で、年代を超えて活発に意見交換しました。

お知らせ 夏カフェその2・その3

今年度のまなびばしゃべりばカフェは、多様性をキーワードに企画をしています。様々な人、様々な立場を知り合う機会です。どうぞご参加ください。

まなびばしゃべりばカフェ 2021 夏(その2)
 増え続けている「医療的ケア児」を知っていますか？
 ～医療的ケアのある子どもたちと
 家族の笑顔のために～

日時：7月24日(土曜) 午前10時～11時30分
 話題提供者：藤川友子氏(代表)、塩野紀代美氏、
 前島志保氏、飯島真紀氏
 (特定非営利活動法人 mamacare ママケア)

医療的ケアの必要な子どもたちがいます。ママケアでは自分たちの経験を活かして、孤独に歩くママたちを一人でも減らしたいと活動しています。

まなびばしゃべりばカフェ 2021 夏(その3)
 社会福祉協議会と
 福祉教育・ボランティア学習推進員の連携
 ～東松山市社協が発信しているYouTube動画に
 は福祉教育のヒミツがいっぱい！～

日時：8月19日(木曜) 午後1時30分～午後3時
 話題提供者：中島 満氏(東松山市福祉教育・ボ
 ランティア学習推進員)
 紫村 元尚氏、百瀬 諒介氏
 (東松山市社会福祉協議会)

YouTube動画の作成や意図など、福祉教育の教材として活かすヒントや連携についてお聞きします。

※事前の申込みをお願いします。

いずれもZoomによるオンライン開催です。
 件名「まなびばしゃべりば夏カフェその1、もしくはその2」として、メールでお申し込みください。
 氏名・連絡先・市町村・所属を明記してください。

申込先：ねっと事務局 須田

メールアドレス masako@niconico39.net

お知らせ 学会埼玉大会

来る第27回学会は埼玉大会！
 オンライン開催です。

日本福祉教育・ボランティア学習学会の
 埼玉大会が行なわれます。(11/27.28)

2021年11月27日(土)～28日(日)の二日間、
 日本福祉教育・ボランティア学習学会学術大会 第
 27回埼玉大会が行なわれます。

2006年の第12回埼玉大会では、県内の福祉教育・ボランティア学習の実践や研究が促進され、それぞれの活動がより充実したものとなりました。第27回大会は15年ぶりに埼玉での開催となります。あったかウェルねっと会員の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

若福研究会コーナー

日本福祉教育・ボランティア学習学会埼玉大会(上記)のプレ企画として、以下のオンラインイベントを予定しています。若福研で行ってきた多様な方々からのプログラムや発信の研究会報告とともに、新たに多様な方々にもご参加いただき、学び合いの場にしたいと考えています。どなたでも参加できますので、申込みをお願いします。
 申込フォーム

<https://forms.gle/kqZ53CEf5VHtypXeA>

●埼玉発！コロナ禍における福祉教育の展開
 日時：令和3年8月29日(日) 13:30～16:30
 1部 埼玉発！コロナ禍における社会福祉施設での福祉教育の展開

内容 社会福祉施設職員からの発信・情報交換
2部 埼玉発！地域で生きる多様な方々からの発信！発信から学び会おう！

- 若者プロジェクトからの報告
- 当事者発信リレートーク

- ①発達凸凹・車いす利用者②医療的ケア児の家族③AYA支援チーム④ギャンブル依存症家族⑤性同一障害者・トランスジェンダー⑥難病患者会埼玉 IBD

※申込はこちらから

<https://forms.gle/kqZ53CEf5VHtYpXeA>

県社協からの情報

○”埼玉らしい”福祉教育の推進を目指して

埼玉県社協では、令和2年度に「福祉教育推進のための意見交換会(※)」を立ち上げ、地域福祉推進のため、福祉教育の機能に焦点を当て、県域での展開方策を話し合っています。

今年度の事業計画では、福祉教育の推進を重点項目に掲げ、多様な関係者と連携した福祉教育の実践の充実に向け、「福祉教育推進プラットフォーム(学び合いの機会)」構築の準備を進めています。

コロナ禍にあっても、多様な福祉教育実践を通じて、地域の子どもから大人まで幅広い世代の豊かな学び・気づきを育み、共生社会の実現に向けた地域づくりを目指していきたいですね。

※「福祉教育推進のための意見交換会」

令和2年度に全社協主催「全国福祉教育推進員研修」を受講した7名(6社協+あったかウエルねっと 須田事務局長)がメンバー。

○ “小さなことから少しずつ！” ボランティア体験プログラム

ボランティアに興味や関心があってもなかなか一歩を踏み出せない、どう始めたらいいのかわからないという方のために、埼玉県全域で展開しているプログラムです(平成7年から始まり、累計50万人が参加)。

この体験プログラムを通して、ボランティアとはどんな活動なのか、どんなことに気を付けたらよいのかなど、ボランティア活動のきっかけとな

っています。子どもから大人まで参加できるよう感染症対策をとり、コロナ禍であってもできるメニューを用意しています。お近くにボランティアに関心のある方がいらっしゃいましたら、お住いの市町村社協におたずねください。



事務局情報

メールリストで情報を

各地域の福祉教育の情報をお寄せください。メールリストなどで共有していきます。

また、会員・賛助会員の方でメールアドレスをお持ちの場合、メールリストの登録ができます。希望する方は事務局までお知らせください。

ねっと事務局 須田 049-283-1865 (FAX)

メールアドレス: masako@niconico39.net

会費振込先のお知らせ

ねっと活動は会費(年1000円、賛助会員一口500円)で運営しています。皆さまのご協力をよろしくお願ひします。今年度から会費納入方法が変わりました。原則として口座振り込みとなります。振込手数料についてはご負担をお願いいたします。

振込先: 埼玉りそな銀行武蔵浦和支店

普通預金口座番号: 5015782

名義: 彩の国福祉教育ボランティア学習推進員ネットワーク

編集後記

新型コロナを前提とした生活が長く続いて、疲弊感や閉塞感が高まっているようです。表現と共感の時間を持つことが大事とのこと。オンラインでおしゃべりをするのもいいですね。

発行: 彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員
 ネットワーク(通称: あったかウエルねっと)

編集: あったかウエルねっと(情報担当)

連絡先: 埼玉県社会福祉協議会地域活動支援課

TEL: 048-822-1435 FAX: 048-822-3078

Mail: vc@fukushi-saitama.or.jp